

東京都江戸東京博物館紀要 第14号

目次

アルノルドゥス・モンタヌス著『東インド会社遣日使節紀行』における言葉とイメージ — 館蔵オランダ語版を手がかりとして ……………	瀧 良介 1
【資料紹介】『科学遊具と自作』 — 建築家中村與資平と児童科学教育会の活動について ……………	鳥越千尋 25
【資料紹介】デ・ラランデ邸（旧三島邸）の工事過程で発見された資料について …	早川典子 41
郷土史料写真社 永江維章について ……………	渡邊 華 51
【資料紹介】江戸東京博物館蔵永江維章関係資料について ……………	宮本花恵 61
【資料紹介】錦糸公園の誕生と館蔵の関係資料について ……………	田中実穂 77
【事業報告】江戸東京博物館第I期映像音響システム改善（リニューアル） — 経過と課題 ……………	友野千鶴子 95

表紙図版：「皇帝の玉座」（将軍謁見図）モンタヌス『東インド会社遣日使節紀行』（英語版）挿絵 1670年 館蔵91210471
オランダ東インド会社の進出を機に、17世紀の西欧では様々な日本関連書籍の出版を見た。アルノルドゥス・モンタヌスの著した『東インド会社遣日使節紀行』、通称『日本誌』もその一つ。本書は特に多数の挿絵で知られ、うち一部は単独の銅版画のかたちでも伝わる。本資料は、そのうちさらに手彩色を施したもの。伝聞情報を頼りに、徳川将軍との謁見の場を表す。後に実際に日本を訪れ、網吉への謁見も果たしたケンペルは、本図をはじめ本書の挿絵が空想の産物であると批判している。それでも本書は、西洋人の日本像を長きにわたって規定した。
当資料については、瀧良介「アルノルドゥス・モンタヌス著『東インド会社遣日使節紀行』における言葉とイメージ—館蔵オランダ語版を手がかりとして」を参照されたい。

表紙の地紋は、当館所蔵の国指定重要文化財「萌葱練縦地菖蒲花文小紋染胴服（徳川家康着用）」（98200135）の小紋紋様をもとにしたものである。

尚、本紀要において8桁の算用数字表記がある場合は、特に断りがない限り館蔵資料番号を表すものとする。

Bulletin of the Edo-Tokyo Museum, No. 14

CONTENTS

Words and Images in Arnoldus Montanus's <i>Gedenkwaerdige Gesantschappen</i> : A Study of the Dutch Edition in the Edo-Tokyo Museum Collection	TAKI Ryōsuke	1
[Introduction of Materials] <i>Kagaku yūgu to jisaku</i> (Scientific Toys and Self-Making) : Architect Nakamura Yoshihei and the Activities of the Jidō Kagaku Kyōikukai	TORIGOE Chihiro	25
[Introduction of Materials] Materials Discovered during the Construction of the House of Georg de Lalande (former Mishima Residence)	HAYAKAWA Noriko	41
On Nagae Ishō of the Kyōdo Shiryō Shashinsha	WATANABE Hana	51
[Introduction of Materials] Materials Related to Nagae Ishō in the Edo-Tokyo Museum Collection	MIYAMOTO Hanae	61
[Introduction of Materials] The Birth of Kinshi Park and Related Materials in the Museum Collection	TANAKA Miho	77
[Project Report] Edo-Tokyo Museum Visual and Audio System Improvements (Renewal) Phase I - Progress and Challenges	TOMONO Chizuko	95